

記者発表資料  
令和元年9月2日  
水産業基盤整備課  
担当：小野寺，伊藤  
内線：2943

## 仙台港高砂埠頭のC重油流出事故に係る被害海苔漁場の安全宣言について

平成31年1月20日に発生した仙台港高砂埠頭のC重油流出事故の後，県では宮城県漁業協同組合と連携し，海苔漁場や周辺海域における海上での油膜や海底の油分の有無について，これまでに7回，延べ68地点で調査を実施した。その結果，油分の残存は認められず，海苔漁場の安全を確認した。

### 1 海底調査実施日及び調査地点

- |     |            |        |
|-----|------------|--------|
| 第1回 | 平成31年1月30日 | (6地点)  |
| 第2回 | 平成31年2月5日  | (8地点)  |
| 第3回 | 平成31年2月27日 | (6地点)  |
| 第4回 | 平成31年3月13日 | (10地点) |
| 第5回 | 令和元年6月18日  | (13地点) |
| 第6回 | 令和元年7月29日  | (12地点) |
| 第7回 | 令和元年8月7日   | (13地点) |
- (合計7回，延べ68地点)

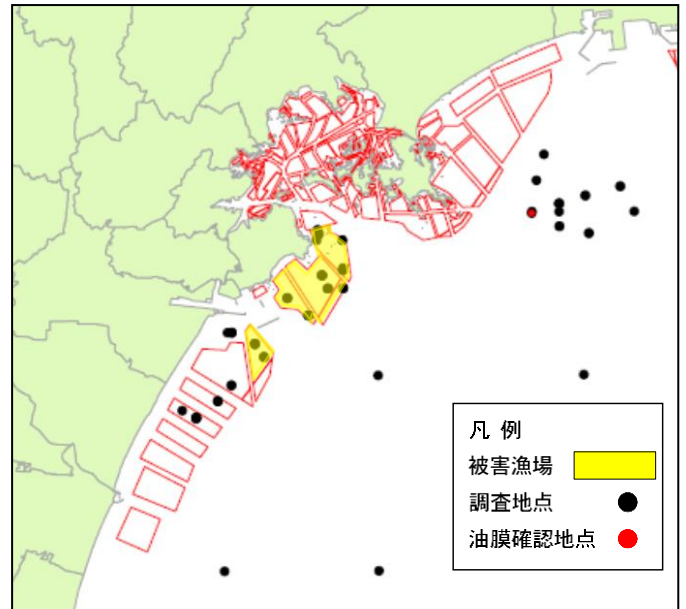


図 海底調査地点

### 2 調査方法

調査船により，海上での油膜の有無を目視確認したほか，海底土を採取し，油分及び油臭の有無を確認した。さらに，6月以降の調査では，油分を溶け出しやすくするために，40℃程度に温めた海水に採取した海底土を入れて油膜の有無を確認する判定試験も行った。

### 3 調査結果

- ・ 事故直後の第1回目の調査では，石巻湾の1ヵ所において海底土の表面から由来不明の油膜を確認したが，その後の調査では，全調査地点で油分は確認されなかった。
- ・ また，目視による海上での油膜も全調査地点で確認されなかった。
- ・ 以上のように油は発見できなかったことから，海苔養殖に対する当該事故の影響は全くなく，海苔漁場の安全を確認した。